

サンプル 様

2014

英国先進 CSR&エシカル企業視察ツアーレポート

「志」のソーシャル・ビジネス・マガジン!  
**alterna**

**SustainaVision**

*Support the Development &  
Promotion of Sustainable Thinking*

## 目次

英国先進 CSR & エシカル企業視察ツアー2014.....	2
ご挨拶 .....	3
1. Impact Hub Islington : インパクト・ハブ・イズリントン.....	4
2. Nestle UK & Ireland : ネスレ UK & アイルランド.....	8
1) インダー・ポーナジ氏・サステナビリティディレクター・ネスレ UK & アイルランド.....	9
2) ロビン・サンドラム氏 責任調達マネジャー ネスレ UK & アイルランド.....	11
3) ケイト・パワー氏 ネスカフェマネジャー ネスレ UK & アイルランド .....	13
4) ベスティ・リード氏 シニア広報マネジャー ネスレ UK & アイルランド.....	14
3. Computer Aid International : コンピューター・エイド・インターナショナル .....	16
4. The Body Shop : ザ・ボディ・ショップ.....	20
5. Lush : ラッシュ.....	26
6. Better Cotton Initiative : ベター・コットン・イニシアティブ .....	33
7. Trucost : トウル・コスト .....	38
8. Rainforest Alliance : レインフォレスト・アライアンス.....	43
9. Guardian Sustainable Business : ガーディアン・サステナブル・ビジネス .....	48
10. Water Aid : ウォーターエイド.....	53
11. Green Peace UK : グリーンピース UK.....	61
12. Fairtrade Foundation : フェアトレード財団.....	67
13. Marks & Spencer : マークス & スペンサー .....	71
14. Hermes Equity Ownership Services : ハーミーズ・エクイティー・オーナーシップ・サービス .....	76
15. i-genius : アイ・ジーニアス .....	85

## 英国先進 CSR&エシカル企業視察ツアー2014

「志」のソーシャル・ビジネス・マガジン「オルタナ」は、創刊 7 周年を記念して「英国先進 CSR&エシカル企業視察ツアー」を 2014 年 7 月 6 日（日）～12 日（土）まで開催した。

この視察ツアーは世界の CSR&エシカルに関して潮流の発信地である英国で、企業はどのような取り組みを行い、どのように社会と「対話」しているのか、また NGO/NPO は、どのように企業にアプローチし、協働しているのか、その最前線を探るツアーである。

本レポートは今回、英国において先進的に CSR やエシカルを推進している企業・団体を訪問した際のプレゼンテーション、そして、質疑応答をまとめたものである。

### <視察スケジュール>

日程	時間	訪問先
7/7	10:00-11:00	Impact Hub Islington : インパクト・ハブ・イズリントン
	13:00-15:00	Nestle UK & Ireland : ネスレ UK & アイルランド
	17:00-19:00	Computer Aid international : コンピューター・エイド・インターナショナル
7/8	10:00-12:00	The Body Shop : ザ・ボディ・ショップ
	14:30-16:00	Lush : ラッシュ
7/9	9:00-10:30	Better Cotton Initiative : ベター・コットン・イニシアティブ
	11:30-13:30	Trucost Plc : トゥルーコスト
	14:15-15:30	Rainforest Alliance : レインフォレスト・アライアンス
	16:30-18:30	Guardian Sustainable Business : ガーディアン・サステナブル・ビジネス
7/10	10:00-11:30	Water Aid : ウォーターエイド
	13:30-15:00	Green Peace UK : グリーンピース UK
	16:00-17:30	Fairtrade Foundation : フェアトレード財団
7/11	10:00-11:30	Marks & Spencer : マークス & スпенサー
	13:30-15:30	Hermes Equity Ownership Services Ltd : ハーミーズ・エクイティー・オーナーシップ・サービス
	16:30-17:30	i-genius : アイ・ジーニアス

## ご挨拶

CSR（企業の社会的責任）活動は常にグローバルな課題と向き合うべきものであり、その意味において企業の CSR 担当者も研究者も、常に海外の最前線に触れている必要があると考えます。

今回、在ロンドン CSR コンサルタントである下田屋毅・サステナビジョン代表取締役の全面的なご協力を得て、5 日間で 15 カ所にもおよぶ企業や N G O / N P O を訪問し、同国の CSR やエシカルビジネスの最新事情に触れることができたのは大いなる喜びでした。

参加いただいた企業経営者、CSR 担当者、研究者の方々には深く御礼を申し上げます。

今後、日本企業による CSR 活動のさらなるグローバル化が進展することを願ってやみません。

2014 年 8 月 19 日

「志」のソーシャル・ビジネス・マガジン！  
**alterna**

株式会社オルタナ  
代表取締役・編集長  
森 摂





## 1. Impact Hub Islington : インパクト・ハブ・イズリントン

- 団体名 : Impact Hub Islington (インパクト・ハブ・イズリントン)
- 住 所 : 4th Floor 5 Torrens Street, London, EC1V 1NQ
- Website: <http://islington.impacthub.net/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 7 日 (月) 10:00~11:00
- 発表者 : リチャード・ブラウンズドン氏  
Richard Brownsdon, Project Development at Impact Hub Westminster  
Director and founder of Inspiring Adventures

### 【団体基本情報】

2005 年インパクト・ハブは、ロンドン北部のイズリントンに設立された。イズリントンは、世界で初めてのインパクト・ハブ。インパクト・ハブは、起業家達が集まって仕事をするワーキングスペースで、ロンドンには、このインパクト・ハブ・イズリントンの他に、キングスクロス、ウェストミンスターがある。世界中で現在 60 拠点あり、2015 年には 80 拠点をを目指す。メンバーは全世界に 7,000 人以上。日本の東京、京都にもオフィスがある。

インパクト・ハブの目的は社会、環境にプラスの影響を与える企業、団体を支援することであり、コア・バリューは「信頼」「コラボレーション」「勇気」。インパクト・ハブは、フランチャイズの形をとっており、営利と非営利の両方の側面を持っている。世界中のハブがハブ・アソシエーションという管理組織を所有しており、若干複雑な構造となっている。それぞれの地域のハブはブランドなどを管理するグローバル組織と連携し、さらにアソシエーションという組織はハブの将来の方向性を決めている。

インパクト・ハブ・イズリントンにおいては、中小企業からフリーランスの人達を含め、過去に合計 1,500 人の社会起業家たちが仕事をしてきた。現在のこのイズリントンのコミュニティ内のアクティブなインパクトメーカーと言われる人々は 227 名。

### ■インパクト・ハブのステージとプロセスについて

- ・ インパクト・ハブとしてグローバルチームに認定されるに当たってのステージとプロセスがある。

ステージ :

1. Candidate : 初期段階 (これから立ち上げるようとしている状態)
2. Initiative : 立ち上げ期。
3. Open : 状況が整備され会員を募集している状態

プロセス :

1. Imagination (イマジネーション、創意)
2. Exploration (探索、調査)
3. Feasibility (実現可能性、実行可能性)
4. Mobilization (可動、動員)



© Nestle UK & Ireland

Copyright © 2014 Sustainavision Ltd All rights reserved.



## 2. Nestle UK & Ireland : ネスレ UK & アイルランド

- 団体名 : Nestlé UK Ltd
- 住 所 : 1 City Place, Gatwick, RH6 0PA, the United Kingdom
- Website: <http://www.nestle.co.uk/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 7 日 (月) 13:00~15:00
- 発表者 : 1) インダー・ポーナジ氏 サステナビリティディレクター ネスレ UK&アイルランド  
Inder Poonaji, Head of Sustainability for Nestle UK & Ireland
- 2) ロビン・サンドラム氏 責任調達マネジャー ネスレ UK&アイルランド  
Robin Sundaram, Responsible Sourcing Manager for Nestle UK & Ireland
- 3) ケイト・パワー氏 ネスカフェマネジャー ネスレ UK&アイルランド  
Kate Power, Nescafe Marketing Manager for Nestle UK & Ireland
- 4) ベスティ・リード氏 シニア・広報マネジャー ネスレ UK&アイルランド  
Betsy Reed, Senior Public Affairs Manager for Sustainability for Nestle UK & Ireland

### 【団体基本情報】

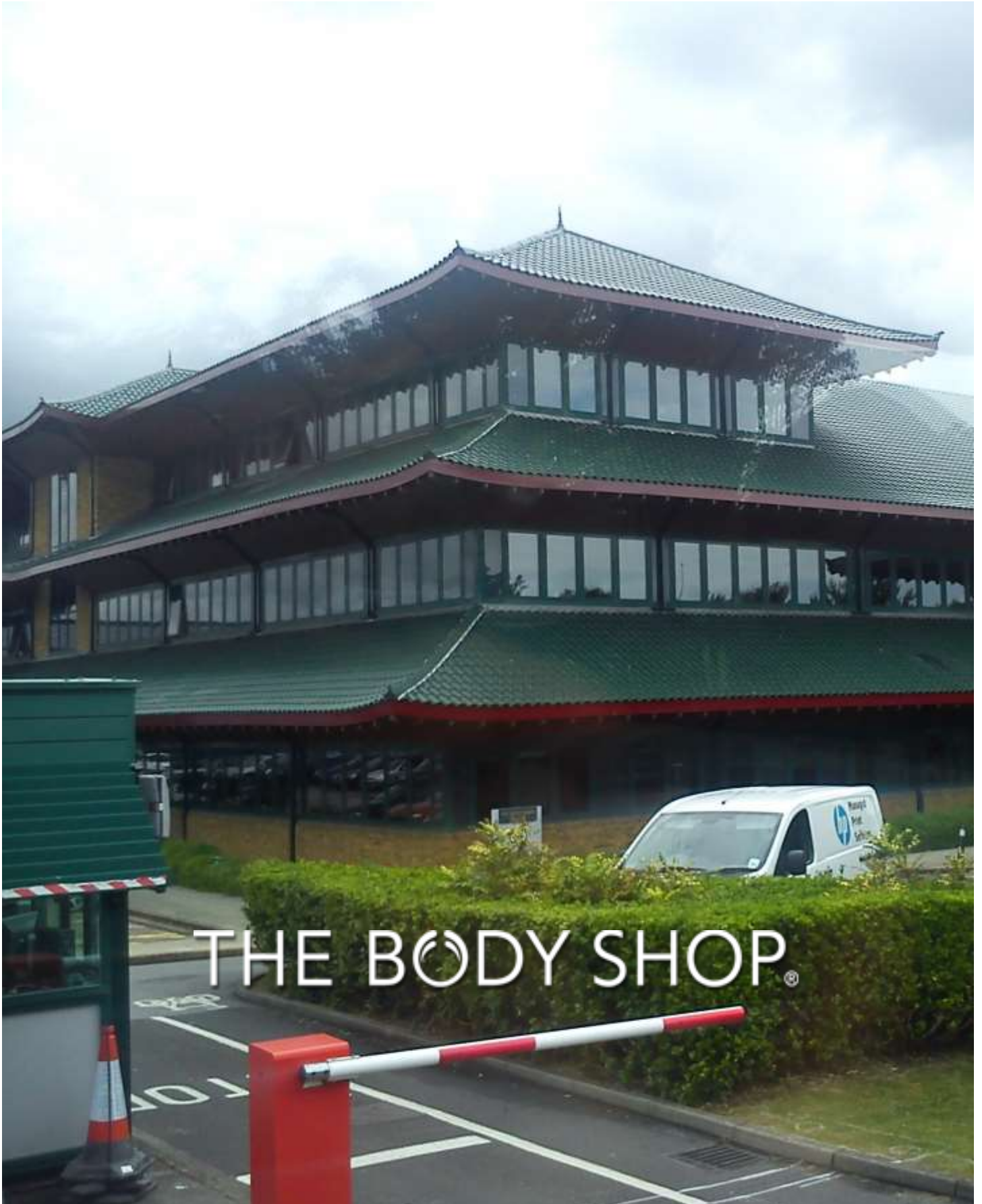
Nestlé は、スイスのヴェヴェイに本社を置く、世界最大の食品・飲料会社。ネスレ UK は 1860 年代に英国に進出、ネスレ UK は、アングロ・スイス・コンデンスミルク社、ラウンtrie・ヨークと歴史的に合併してできた会社である。ネスレとアングロ・スイス・コンデンスミルク社は 1905 年に合併、そして 1988 年にラウンtrie・ヨークを買収した。ネスレ UK の本社は、ロンドン郊外のギルドフォード。英国内に工場を 7 つ持ち、他に Nestlé Nutrition、Nestlé Professional、Nestlé Purina Petcare、Nestlé Waters、Cereal Partners UK、Lactalis Nestlé Chilled Dairy Company Ltd、Nespresso などの子会社を持つ。ネスレは、自社の CSR 活動の一環として CSV を 2006 年から実施。<http://www.nestle.co.uk/csv2013>

### 1) インダー・ポーナジ氏・サステナビリティディレクター・ネスレ UK&アイルランド

#### ■ネスレの哲学について

- ・ ネスレの社会ピラミッドとして、ネスレの哲学をピラミッドで表現すると、コンプライアンス・人権、法律上守らなければならないことや、企業として取り組みをしなければならないことが土台となっている。コンプライアンスや人権に取り組みが出来て、はじめて環境、サステナビリティの活動に取り組むことができる。
- ・ 我々が考えるサステナビリティとは、将来の世代が現在の我々と同じような生活ができることである。
- ・ サステナビリティは大きく環境面と社会面に分ける事ができる。
- ・ 環境面では、人間は悪い存在で決して良い影響を与える事はなく、実際奪うことばかりしている。そして人口増加、気候変動、成長市場の影響で現在の生活レベルを維持するのがさらに難しくなる。





## 4. The Body Shop : ザ・ボディ・ショップ

- 団体名 : The Body Shop
- 住 所 : Watersmead, Littlehampton, West Sussex, BN17 6LS, the United Kingdom
- Website: <http://www.thebodyshop.co.uk/index.aspx>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 8 日 (火) 10:00~12:00
- 発表者 : クリス・デービス氏 CFT チーム  
Chris Davis/CFT team  
クリスティーナ氏 CFT チーム  
Christina/CFT team

### 【企業基本情報】

ザ・ボディ・ショップは、イギリスウェスト・サセックス州リトルハンプトンに本社を置く化粧品メーカー。1976 年、アニータ・ロディックが天然原料をベースとしたオリジナル化粧品を製造、販売する企業として設立した。2006 年に、ロレアルが買収。2014 年現在、世界 60 カ国以上に 2,500 店以上を展開している。化粧品製造における動物実験に反対する、人権擁護に積極的に取り組むなど、社会的企業として世界をリードする企業である。

### ■ボディショップの歴史

ボディショップは、創業者のアニータ・ロディックが英国南部のウェストサセックス州リトルハンプトンで生活していた時に始まり、約 30 年前に英国南部の町ブライトンで 1 号店を設立した。アニータは非常にクリエイティブで発言力があり上司として素晴らしい女性だったとのこと。

創業のきっかけは、アニータの夫のゴードン氏が南米から北米にかけて馬に乗り移動しているという自由奔放な生活をしていたので、アニータは収入源を探さなければならず、化粧品会社であるボディショップを始めることを決意した。

アニータは、起業の際に他の化粧品会社とは違った企業の立ち上げをしたかった。その会社とは、世の中にとって良い企業で、変化を促す企業であることを意識して、この想いを従業員と共有できるものとしてボディショップの企業理念であるバリューズを作った。

### ■企業理念（私たちのバリューズ）

アニータは社会に良い事をする会社を作りたいと考え、次の 5 つの企業理念にその想いを込めた。

1. 化粧品の動物実験に反対 (Against Animal Testing)  
企業として初めて「美容業界のために動物が酷い目にあうべきでない」と発言した。動物実験を行わないのはもちろん動物実験反対のキャンペーン活動も実施している。
2. 公正な取引により、地域社会を支える (Support Community Trade)  
フェアトレードを通じて、何千人ものコミュニティの人達の生活改善に貢献。
3. 自分らしい生き方を大切にする (Activate Self Esteem)





## 5. Lush : ラッシュ

- 団体名 : Lush Ltd
- 住 所 : 29 High Street, Poole, Dorset, BH15 1AB, the United Kingdom
- Website: <https://www.lush.co.uk/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 8 日 (火) 14:30~16:00
- 発表者 : ヒラリー・ジョーンズ氏 エシカル部長  
Hilary Jones, Ethical Director  
サイモン・コンスタンティン氏 購買部長  
Simon Constantine, Head of Buying

### 【企業基本情報】

ラッシュは、英国のドーセット州プールに本社を置く化粧品、バス用品メーカーの多国籍企業である。自然素材を多用した色彩豊かな製品を取り扱い、2014 年 7 月現在 51 ヶ国に 830 の店舗がある。

1994 年ドーセット州プールに本社・工場を設立し、1995 年同市内に 1 号店を出店。企業形態としては少人数による持分会社の形式をとり、パートナー企業及びフランチャイズを用いて各国に展開している。ラッシュは食品や植物を主体とする天然成分を特徴とするバス用品、洗顔料、ケアクリームなどを製造・販売している。

日本においては、ラッシュジャパンが、ラッシュとのフランチャイズライセンス契約を結び、事業展開している。1998 年 10 月に設立。1999 年東京の自由が丘に第一号店を出店。現在は愛甲郡愛川町に本社・工場を置く。

### ■ラッシュの歴史について

- 19 年ほど前に創業。今回のプレゼンターであるサイモン氏の両親のマーク・コンスタンティン氏とモー・コンスタンティン氏等が創業。英国南西部ドーセット州の町プールに 1 号店を開く。
- ラッシュの創業前、メンバーはボディショップの商品の開発と生産を行っていた。当時の工場はサイモン氏が生まれ育った実家。しかし、ボディショップが世界的な企業に成長すると同時に自社工場を設立したため、サイモン氏の両親たちはボディショップのために生産する必要がなくなり、自らの事業を立ち上げる事になった。
- その会社の設立時、ボディショップと競合関係になりたくなかったため、メールにてオーダーを受ける通信販売の形式をとることとした。コンピューターシステムの導入や動物実験反対など、80 年代後半当時としては革新的な企業として人々から注目を集めていた。また、ボディショップから独立したことにより、独自性を出せるようになり、ハーブ、果物、野菜などの天然素材を多く取り入れるようになった。
- しかし、英国の不況下でメールオーダー（通信販売）のビジネスが苦戦し、最終的に破綻へと追い込まれた。負債は数百万ポンド。この経験を通じビジネスの厳しさを知ると同時に、信頼できる人達、自然への強い感謝の気持ちを持つようになった。
- その後、彼らは新たな化粧品会社を立ち上げることを決意。その際に、ミッションステートメントである「We Believe（ラッシュの信念）」を作成。現在店舗、カタログ、買い物袋などあらゆるところに記されている。



© Better Cotton Initiative





## 6. Better Cotton Initiative : ベター・コットン・イニシアティブ

- 団体名 : Better Cotton Initiative
- 本拠地住所 : 22 rue des Asters, 1202 Geneva, Switzerland
- Website: <http://bettercotton.org/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 9 日 (水) 9:00~10:30
- 発表者 : ミラ・ストリコバ氏 メンバーシップ・インターン  
Mila Strikova, Membership Intern

### 【団体基本情報】

ベター・コットン・イニシアティブ (BCI) のゴールは世界の綿花生産を、それを生産する人にベター、それが育つ環境にベター、その分野の将来をベターとすることである。BCI の長期目標は、人と環境の健康に与える水と農薬の使用の影響を減らすこと、土壌の健康の改善と微生物の多様化、農業コミュニティと綿花生産労働者のためのきちんとした仕事の推進、より持続可能な綿花生産の世界的な知識の交換を促進、コットンのサプライチェーン全体のトレーサビリティを増加させる等で、ベター・コットン生産の固有の利益を、特に農家への財政的な収益性を実現することである。

BCI は 2005 年に、WWF が率いるラウンドテーブル・イニシアティブの一環として始まった。最初の段階はアディダス、ギャップ社、H & M、ICCO、IFAP、IFC、イケア、オーガニックエクスチェンジ、オックスファム、PAN UK と WWF などの主要団体の集合がサポート。

2009 年に独立した組織として設立された。活動エリアはパキスタン、インド、中国、アフリカ、トルコ、ブラジル、オーストラリアでも契約を交わしたばかり。他のサステナビリティに関わる組織よりも戦略的なアプローチをとっていて、毎年測定可能な目標を設定している。最終的な結果を重視し、生産性を高めることを目指す。農薬やコストの削減、収益性向上など。メインストリームの市場を狙うことでスケールを目指す。従来のオーガニックコットン団体はニッチ市場にしかリーチしていなかったためマーケットシェアは 1 %程度だったが、世界のコットン市場の 7 % を占めている。

### ■ベター・コットン・イニシアティブの仕組みについて

- ・ 会員が条件を満たした場合、他の組織のように認証資格を与えることはしていない。中小規模組織からは会費は受け取っておらず、大規模の組織からのみ受け取っている。
- ・ 会員に対して 2 年間の目標を設定し、もし目標を達成できなかったとしても退会してもらうのではなく支援をする。コットンは換金作物であり、また生産者はそれほど教育を受けていない場合が多いため、彼らにとって先進国の求めることに応えるのは簡単なことではないことを理解している。

### ■マーケティング戦略について :

- ・ BtoC より BtoB の組織であり、例えばブランドには我々のロゴを商品に使うことを禁止している。なぜなら、ロゴが使われることは我々にとってレピュテーション・リスクであり、また我々の目的は商品を売る事ではなく



## 8. Rainforest Alliance : レインフォレスト・アライアンス

- 団体名 : Rainforest Alliance United Kingdom and Other European Locations
- 住 所 : Warnford Court, 29 Throgmorton Street, London EC2N 2AT, the United Kingdom
- Website: <http://www.rainforest-alliance.org/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 9 日 (水) 14:15~15:30
- 発表者 : メルセデス・タロウ氏 サステナブル・バリューチェーン/マーケット  
Mercedes Tallo, Director, Sustainable Value Chains/Markets  
マルセル・クレメンス氏 サステナブル・バリューチェーン欧州と日本シニアマネージャー  
Marcel Clement, Senior Manager, Europe and Japan, Sustainable Value Chains  
ドミニク・グニア氏  
Market Team  
ジョセフ・キャメロン・ブース氏 アシスタント・サステナブルマーケット  
Joseph Cameron Booth, Assistant, Sustainable Markets

### 【団体基本情報】

レインフォレスト・アライアンスは、熱帯雨林の保護を通じて、生物多様性と労働者の持続可能な暮らしを支援する NPO 組織である。ミッションの中にビジネスモデルが含まれている。それらは土地利用、ビジネス習慣、そして消費者行動に変化をもたらすことである。その際、農家やトレーダーを含むサプライチェーン全体を見ている。単なるチャリティ団体ではなく、ビジネス面でも成果を出すことを目標としている。活動分野は農業、林業、観光業。それぞれの分野に対して認証マークが用意されている。目指しているのは、人々の健康や幸せと地球を保護できるグローバルな市場を作ること。

レインフォレスト・アライアンスの取り組み方の中心は、大地の保全が、そこに頼って生活している人々の福祉と密接に関係しているという理解である。世界で最も破壊されやすい生態系のいくつかにおいて、それらの生態系と地域社会の健全を促進するため研修と認証を提供することが、取り組みには含まれている。農園や森林がレインフォレスト・アライアンス認証を取得するには、また観光業の事業者が検証を受けるには、生態系を保護し、地元共同体の福祉を保障し、また生産性を向上するために設けられた厳密な基準を満たさなければならない。レインフォレスト・アライアンスは、緑のカエルのマークを通じて、世界各地で増加している良識ある消費者のコミュニティにこれらの事業者を結び付けている。レインフォレスト・アライアンスのマークは、環境・社会・経済面の持続可能性のシンボルとして国際的に認識されており、明るい未来を築くために企業と消費者の両方が寄与するのに役立つ。

### ■農業、林業、観光業について

#### <農業について>

- 750 万エーカー（約 150 万ヘクタール）の土地に対して影響を与えている。また、43 カ国で 110 万人の農業関係者と関わっている。





## 9. Guardian Sustainable Business : ガーディアン・サステナブル・ビジネス

- 団体名 : Guardian News and Media Ltd, Guardian Sustainable Business
- 住 所 : Kings Place, 90 York Way, King's Cross, London, N1 9GU, The United Kingdom
- Website: <http://www.theguardian.com/sustainable-business>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 9 日 (水) 16:30~18:30
- 発表者 : スー・トーカ氏 ヘッド・オブ・サステナブル・ビジネス・ネットワーク  
Sue Torka, Head of Guardian Sustainable Business Network  
ティーボ・フックセル氏 ビジネス開発ディレクター、グローバル開発ネットワーク  
Tibor Fuchsel, Business Development Director, Global Development Networks

### 【団体基本情報】

ガーディアンのビジョンは、メディア業界でサステナビリティに関するリーダーとなることであり、ガーディアンの活動では、環境を再生できるようにすることである。ガーディアンは、持続可能な未来を構築するために、社会の能力を強化することをコミットメントしている、リーダー、スタッフ、広告主、サプライヤー、コミュニティへ、ガーディアンの報道記事や事業活動を通じてデモンストレーションを実施する。

ガーディアン・サステナブル・ビジネス (GSB) は、このガーディアンのビジョンの一部であり、最先端のポジティブな変化を起こすことを考えている企業のリーダーのためのグローバルなプラットフォームである。ガーディアンは、持続可能なビジネスを拡大する為に、示唆に富むコメント、ディベート、専門家の洞察力等を読者に届ける為に企業のサステナビリティに関する世界で最も権威のある声を集めて掲載し支援している。

### ■ガーディアン・サステナブル・ビジネス・ネットワークについて

- ・ 3 年前から始まり、環境や社会問題に関する最新情報をビジネス収益性の観点も交えながら提供している。この分野に対するブランドの関心は強まりつつあり、また読者も増えてきている。
- ・ マイケル・ポーター教授や、自然資本を専門とするバヴァン・スクデフ氏などの専門家とコンテンツを開発。記事は編集部と協力。
- ・ 日本を含め、世界中の情報、ベストプラクティスに関心があるが、現在アジアの情報は少ない。アジアに特派員がいるか定かではないが、フリーランスのジャーナリストはいる。
- ・ 顧客企業には、日本企業（例：日立製作所）も含まれ、彼らはソーシャル・イノベーションのメッセージを伝えようとしている。
- ・ デジタルメディアの使用については、ウェブサイト、ソーシャルメディアを積極的に活用している。サステナビリティ分野において世界で最も発信力のあるメディアであると言える。
- ・ ガーディアン・サステナブル・ビジネスのウェブサイトへのアクセスは、3 分の 1 は英国、3 分の 1 はアメリカ、そして残りの 3 分の 1 はその他の国。





## 12. Fairtrade Foundation : フェアトレード財団

- 団体名 : Fairtrade Foundation
- 住 所 : 3rd Floor Ibex House London EC3N 1DY, the United Kingdom
- Website: <http://www.fairtrade.org.uk/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 10 日 (木) 16:00~17:30
- 発表者 : マイケル・ギットニー氏 チーフ・エグゼクティブ  
Michael Gidney, Chief Executive  
アシシ・デオ氏 コマーシャル・ディレクター  
Ahish Deo, Commercial Director

### 【団体基本情報】

フェアトレード・インターナショナルは、公正な貿易の実現によって、世界から貧困がなくなり、生産者が持続可能な生活を実現し、自ら未来を切り開いていける世界をビジョンとして持ち、途上国の生産者が貧困に打ち勝ち、自らの力で生活を改善していけるよう、フェアトレード・ラベル運動を通して、企業・市民・行政の意識を改革し、フェアトレードの理念を広め、より公正な貿易構造を根付かせることをミッションとして活動をしている。

フェアトレード・インターナショナルは、世界のフェアトレードを推進し、国際フェアトレード認証ラベルのライセンス事業や製品認証事業、フェアトレード教育啓発活動を実施している各国の構成メンバーを束ねている団体である。本部はドイツ・ボン。フェアトレード財団は、フェアトレード・インターナショナル（FLO）の構成メンバーとして英国内で活動を行っているチャリティ団体である。

### ■基本情報

- ・ フェアトレードの目的は途上国の貧困問題を改善すること。そのために、我々は世界中のサプライチェーンや取引の方法を変えようとしている。
- ・ フェアトレード・インターナショナルは、責任あるビジネス習慣を通じて、主に熱帯地域の生産者と英国の消費者を繋いでいる。また、企業のサプライチェーンが最低限の環境社会基準を守るように支援している。
- ・ 平等で責任あるトレードを重視している。それは企業と消費者両方にとって良い結果をもたらす。
- ・ 英国の組織はグローバル組織の一部で、グローバル組織は市場 20 カ国と 70 を超える生産国を含む。その中でも英国のフェアトレード市場は世界最大。
- ・ 世界におけるフェアトレード商品の消費量は 2012 年時点で 50 億ユーロ。
- ・ フェアトレード商品は欧州、北米、インド、南アフリカ、ケニア、日本、オーストラリアなど世界 125 カ国で販売されている。
- ・ 途上国における 130 万人の労働者を支援。彼らは様々なリスクを抱えているが、フェアトレードを通じて適切な賃金が支払われ、また物価にも最低価格が設定され、農家への最低限の収入が保障される。プレミアム制度もあり。
- ・ フェアトレードはこの 20 年間、サポーターたちによって広められてきた。フェアトレード・インターナショナルは、





© Marks & Spencer

YOUR M&S



## 13. Marks & Spencer : マークス&スペンサー

- 団体名 : Marks & Spencer Plc.
- 住 所 : Waterside House 35 North Wharf Road, London, W2 1NW, the United Kingdom
- Website: [http://corporate.marksandspencer.com/plan-a?intid=gft\\_plana](http://corporate.marksandspencer.com/plan-a?intid=gft_plana)
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 11 日 (金) 10:00~11:30
- 発表者 : マイク・バリー氏 プラン A ディレクター  
Mike Barry, Director of Plan A

### 【企業基本情報】

マークス&スペンサー (M&S) は、創業 130 年になる英国の老舗スーパーマーケット。食品、衣類、美容、家庭用品だけでなく、金融、エネルギー分野も取り扱っている。M&S は、サステナビリティ戦略の「プラン A」を 2007 年に立ち上げた。「プラン A、1 つしかない地球に対してプラン B (代替案) など存在しない。」という考えの下、M&S は 2007 年に 100 個の社会、環境課題に取り組むことを宣言した。その数を 2010 年に 180 個に増やし 2013 年まで取り組みを実施、そして今年「プラン A2020」として、2020 年までのコミットメントを改めて 100 個発表し取り組みを開始している。M&S の軸となるブランドバリューは「信頼」。

### ■M&S の CSR の歴史

- 1970 年代、M&S は利益をチャリティ団体に寄付するという『慈善事業』の活動を実施していた。
- 1980 年代は、「コミュニティ投資」を実施。当時英国は社会問題が山積みで、暴動が多発しており、失業率も高かったという。そして M&S は、これらの問題を抱えていた人々に投資し保護していった。そしてこれらの人々が M&S で買い物をするようになったとのこと。この活動は、「啓発された自己利益」と呼ばれ、コミュニティに良い影響を及ぼし、M&S にも商業的利益をもたらすものであった。
- 1990 年代に入ると信頼を築く新しいアプローチとして「CSR」が現れ、M&S は自社の「CSR」の取り組みを実施していった。
- 2006 年までの約 10 年間 M&S は「CSR」に取り組み、M&S はこの分野で先進的な企業となっていた。サプライチェーンをどのように管理すれば良いかも習得していたし、NGO との協働やステークホルダー・エンゲージメントについてもどのようにすれば良いかを習得していた。
- 2006 年、「英国で最も責任ある企業」に選出された。

### ■ 現在のサステナビリティ戦略、「プラン A」

- M&S が、2006 年 CSR のリーダーとなった当時の CEO であったスチュアート・ローズ卿が、「M&S の CSR はリスク管理ではなく、リーダーシップそのものであるべきだ」と発言。それがバリー氏が、M&S のサステナビリティプラン「プラン A」を作成するきっかけとなった。
- 「プラン A、1 つしかない地球に対してプラン B (代替案) など存在しない」という考えの下、M&S は 2007 年から 2012 年の間に 100 の社会、環境課題に取り組むことを宣言。

# i-genius



World community of social entrepreneurs

i-genius  
ACADEMY

i-genius

© i-genius

# i-genius





## 15. i-genius : アイ・ジーニアス

- 団体名 : i-genius Ltd.
- 住 所 : 10 Colthurst Crescent, London N4 2DS, the United Kingdom
- Website: <http://www.i-genius.org/>
- 訪問日時 : 2014 年 7 月 11 日 (金) 16:30~17:30
- 発表者 : トミー・ハッチンソン氏 創設者 & CEO  
Tommy Hutchinson, Founder & CEO

### 【団体基本情報】

「i-genius」は、2007 年にロンドンに設立された。i-genius は、世界のそれぞれの地域で活躍する社会起業家を結び付けるコミュニティであり、世界最大の社会起業家ネットワーク。16,000 のネットワークが 200 カ国にあり、日本を含む 30 カ国以上で活動している。世界の社会起業家やソーシャルビジネスの分野に興味のある人達に、社会起業家の人達の知識や情報を共有し、研修の提供、世界各地でイベント等を開催している。

コミュニティ構築、i-genius アカデミーを通じたトレーニング、イベント事業、政府に対するアドボカシー活動などを通じて、社会起業家の支援を行っている。

ブリティッシュ・カウンシルの最大のグローバル・トレーニング・パートナーであり、また BBC にも推奨されている。イタリア政府や EU、OECD などともプロジェクトを実施している。

3 名の小規模なチームだが、そのうち 2 名は日本語が話せる。その他フリーランスの人々と仕事もしている。創業者のトミー・ハッチンソン氏は、以前は金融業界で航空宇宙産業から政治の世界までと、幅広い分野の仕事をしていた。数年前から環境、社会的な側面を持つ 7 つの会社を起業している。

### ■イベントについて

- ・ 世界中でイベントを開催しており、例えばバンコクでアジア・サミットを開催、その他、ブラジル、韓国、パキスタンなどで開催した。2015 年には日本で健康的な労働環境を促すイベントを開催予定である。
- ・ Global Healthy Workplace Award というイベントには約 150 名が参加した。バンコクでのアジア・サミットには 75 名が参加。人数は多くなりすぎないようにコントロールしている。
- ・ スタディ・ツアーなども企画した。

### ■ i-genius アカデミーについて

- ・ オンラインのトレーニングを開始。
- ・ アカデミー・カンファレンスを大学で開催し、いかに社会起業家向けのコースを改善するかについて議論が交わされた。
- ・ i-genius の会員はパートナー大学の授業料から 10%の割引を受けることができ、i-genius は大学から 10%を受け取る仕組みとなっている。現在ノースハンプトン大学がパートナーだが、今後他の大学ともこうしたリクルーティング・パートナーシップを構築する予定である。

英国 CSR & エシカル企業視察ツアー2014

報告書作成日 2014 年 8 月 20 日

発行所 Sustainavision Ltd.

監修者 下田屋 毅（シモタヤ タケシ）

- Sustainavision Ltd. 代表取締役  
CSR コンサルタント（ロンドン在住）
- Address: International House, 24 Holborn Viaduct, City of London, London EC1A 2BN, UK
- Website: <http://www.sustainavisionltd.com/>
- E-mail : [infojp@sustainavisionltd.com](mailto:infojp@sustainavisionltd.com)

翻訳者 ウィンゲートピアス（坂下）素子 (ウィンゲートピアス（サカシタ）モトコ)

- E-mail : [simplechild4u4s@gmail.com](mailto:simplechild4u4s@gmail.com)

